

第12回姉妹都市交流事業 南城市の子どもたちと交流

12月22日、沖縄県南城市の交流団16人が、3泊4日の日程で本町を訪れ、町役場で歓迎式が行われました。

式では、団を代表し梶原明里さんが「今回の交流を楽しみにしていた。高千穂の歴史や魅力を感じ、多くの人と交流を深めたい」とあいさつをしました。

子どもたちは、二日間の民泊を体験しながら、観光地やスキー体験を行うなどして、町民たちとの交流を深めました。



平穏無事な新年に 鬼八の力石に新しい大しめ縄

12月26日、(社)高千穂町観光協会(竹尾通洋会長)が、高千穂峡内の「鬼八の力石」の大しめ縄の付け替えを行いました。

付け替える大しめ縄は、毎年、三田井地区神楽保存会員らが制作しており、長さ約6m、重さ約15kgの大きさになります。

作業は、時折り雪がちつつき冷たい風が吹く厳しい寒さの中、職員が石に上り、安全に気をつけ左右のバランスを確認しながら完成させました。



好きなことを減らし厳しい練習に耐える 県市町村対抗駅伝競走大会結団式

12月4日、第16回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会(1月12日宮崎市で開催)に出場する選手団の結団式が行われました。

選手を代表し、山本錠さん、「心さん親子が「厳しいであろうコーチの練習に耐え精一杯走る。そのためにも今日から好きなゲームや焼酎を減らします」と誓いのことを述べました。

※結果は、町村の部17チームにおいて、1時間55分45秒で第7位と奮闘しました。



JA共済の地域貢献活動 カーブミラーの贈呈

12月19日、JAみやざき高千穂地区本部(佐藤友則本部長)から、JA共済の地域貢献活動の一環として、カーブミラー(24基)が贈られました。

佐藤本部長は「有効に活用していただき、事故が一件でも減るよう未然防止になれば」とあいさつ。甲斐町長は「多くの地域からカーブミラーの要望がある。交通安全や事故防止として、地域の安全安心のために有効に活用させていざと述べました。



新年の

ごあいさつを

申し上げます



飛躍

新年、明けましておめでとうございます。皆さまには、心新たに、令和8年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、本町の振興発展のために、さまざまにお力添えをいただき、町政を前に進めることができました。心より厚く感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和4年から3年連続したような大きな災害もなく、比較的平穏な年であったと存じます。

その中で、いくつもうれしいニュースがありました。

10月に開催された「第66回宮崎県畜産共進会」では、JA高千穂地区本部が3年連続の団体優勝を果たすなど、高千穂牛の質の高さを県内外に示すことができました。また11月、国の機関から、ユネスコ無形文化遺産の次の推薦候補に「高千穂の夜神楽」を含む「神楽」を選定したという胸躍る発表がありました。

早ければ2028年に本登録が決定しますが、世界農業遺産、ユネスコエコパークに加え、また一つ世界基準の冠を得ることは大きな誇りであり、町として登録の実現に向けて全力で取り組んで参ります。

観光面でも、国内外から多くの観光客に來町いただきました。

11月には、神殿の「がまだせ市場」下に、観光客や地域の皆さまの交流場所、またイベントスペースとして「サイトミタイ憩いの広場」を開設いたしました。子どもたちのアイデアも採用し、雲海をイメージしたデザインで、フォトスポットとなるモニュメントもありますので、ぜひお立ち寄りください。

さて、うま年は前向きなエネルギーに満ち、飛躍のチャンスが多い年だそうです。

本町もさまざまなことにチャレンジしていかねばなりません。が、道路インフラの整備や医療・福祉の充実、新たな子育て支援対策、農林業や商工業の振興などを図り、さらに活気あるまちづくりを進めて参ります。また、懸案である高千穂中学校の移転、老朽化した公共施設等の更新、新たな交通体系の検討などについても、知恵を絞り着実に前に進めて参ります。さらに、国や県の動きと連動した物価高騰対策、生活や事業支援につきましても、効果的な施策を講じて参ります。

結びに、高千穂町の限らない発展と、町民の皆さまのご多幸、ご健勝をお祈りし、新年のごあいさつといたします。